地 域 再 生 計 画

1 地域再生計画の名称

地域資源を活かした魅力あふれるまちづくり計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

高知県及び高知県安芸市

3 地域再生計画の区域

高知県安芸市の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地域の現況

安芸市は、高知市から東へ約 40 キロに位置する田園都市で、市の南部を横断する国道 55 号を中心に県東部地域最大の市街地を形成している。南は土佐湾に面し、北は四国山地を背に徳島県と接しており、面積は 317.21 平方キロメートル、人口 17,577 人（平成 27 年国勢調査）を有している。森林面積は 281.31 平方キロメートルで、市域の約 89%を森林が占めており、市内の中央部には安芸川・伊尾木川が南流し、その流域には安芸平野が広がっている。

4-2 地域の課題

本市においては、高齢化率が 37.5%（平成 27 年国勢調査）と、全国平均 26.6%（平成 27 年国勢調査）と比較しても高く、今後も同比率は上昇していく見込みである。とりわけ中山間地域においては、この進行がより顕著なものとなっており、地域へのアクセス条件の悪さも都市部との交流の妨げとなっている。

本市の基幹産業である農業分野においては、農業者の高齢化等による担い手不足に伴う耕作放棄地の増加に加え、産地間競争の激化や燃料・農業資材の高騰など厳しい状況が続いており、産地の維持や農業・農村環境の多面的な機能保全が困難になりつつある。また、林業分野においても、外国産木材の輸入増や在来木造住宅の減少による需要の低迷等で木材価格は下落しており、それに伴って間伐など森林の管理が不十分となり、山村が担ってきた大気保全・土砂流出や崩落防止・水源のかん養といった公益的機能の役割を十分に果たせていない状況となっている。

このように中山間地域での生活や農林業を取り巻く環境は年々厳しさを増し、森林の荒廃や耕作放棄地の増加が喫緊の課題として認識されているものの、景気の低迷等による財源不足から、中山間地域における市道・林道などの基盤整備は遅れている。地域産業の競争力強化に資する市道・林道の一体的な道路ネットワーク整備は、中山間地域の住民生活及び経済活動にとって重要課題であり、地域活性化には必要不可欠である。また、森林の荒廃を防ぎ、果たすべき公益的機能を高めるためには、計画的な間伐実施等の森林整備が急がれる。

4-3 計画の目標

本計画は平成 27 年度から令和元年度にかけて実施された、「山と緑あふれる元気な安芸市再生計画」を踏襲して行う計画であり、本計画に掲げる道整備交付金事業及びその他関連事業を継続的に行うことにより、間伐面積の増加を図り、効率的な農産物の搬出、間伐等の森林施業及び木材搬出を行うことで、農林業の振興を図ると共に、交流人口の増加も目標としている。

また、本計画に歩調を合わせる形で、令和元年度から配分されている森林環境譲与税を効果的に活用することで、森林整備や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等に積極的に取り組み、中山間地域の活性化を図る。

- (目標 1) 間伐材年間搬出量の増加
11,520 m³/年 (令和元年度) → 12,100 m³ (令和 7 年度)
- (目標 2) 林業事業体における新規就業者数の増加
0 人 (令和元年度) → 5 人 (令和 7 年度、累計)
- (目標 3) 安芸駅ちばさん市場売上高 (農産品目に限る) の増加
107,454 千円/年 (令和元年度) → 110,000 千円/年 (令和 7 年度)
- (目標 4) 年間観光入込客数の増加
256,643 人/年 (令和元年度) → 265,000 人/年 (令和 7 年度)

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

本市の中山間地域活性化のためには、市道・林道の一体的な整備により、農林業の振興、交流人口の拡大を図る必要があるが、市域の大部分を占める中山間地域においては、市道及び林道の整備が遅れており、中心市街地へのアクセス道が脆弱であることが、当該地域を中心とした農林業及び観光振興の支障となっている。

このことから、地方創生道整備推進交付金により主要地方道安芸物部線へのアクセス道となる畑山栃ノ木線につながる市道中川線の道路改良及び林道畑山仲木屋線の開設等を一体的に行うことにより、木材の輸送コスト低減など効率的な道路ネットワークが構築され、木材生産量や農産物搬出量の増加が期待される。

また、本市の基幹道路である国道 55 号、主要地方道安芸物部線、一般県道黒岩東浜線、高台寺川北線に接続する市道・林道においても安全性の確保、利便性の向上を図るため、老朽化した路面の舗装や幅員の拡幅等、必要な道路改良に取り組む。

その他関連事業として、環境先進企業と協働した森林保全活動の他、平成 31 年 3 月に創設された森林環境譲与税を活用し、これまで十分な手入れが行われてこなかった森林整備や人材育成・担い手の確保に積極的に取り組み、地域再生計画の目標達成を目指す。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

(1) 地方創生道整備推進交付金【A3008】

対象となる施設は以下のとおりで、事業開始に係る手続等を完了している。
 なお、整備箇所等については、別添の整備箇所を示した図面による。

- ・市道 道路法に規定する市道に認定済み。()内は認定年月日。
 中川線 (昭和61年11月29日)
- ・林道 森林法による安芸地域森林計画書(平成30年策定)に路線を記載。
 林道畑山仲木屋線(開設)
 林道正藤線(舗装)

[施設の種類] [事業主体]

- ・市道 安芸市
- ・林道 高知県、安芸市

[事業区域]

- ・安芸市

[事業期間]

- ・市道 令和4年度～令和7年度
- ・林道 令和3年度～令和7年度

[整備量及び事業費]

- ・市道 1.25 km、林道 3.5 km
- ・総事業費 890,000千円(うち交付金445,000千円)
 市道 50,000千円(うち交付金25,000千円)
 林道 840,000千円(うち交付金420,000千円)

[事業の実施状況に関する客観的な指標及び評価の方法]

(令和/年度)	基準年 (R1)	R3	R4	R5	R6	R7
指標1 木材の生産性の向上 間伐面積の増加	120ha	121ha	122ha	123ha	124ha	126ha
指標2 観光振興と交流の創出 安芸観光情報センター来館者数	10,530人	11,000人	11,500人	12,000人	12,500人	13,000人

毎年度終了後に安芸市の職員が高知県及び安芸観光情報センター指定管理者に必要な調査等を行い、速やかに状況を把握する。

[事業が先導的なものであると認められる理由]

(政策間連携)

市道及び林道を一体的に整備することにより、個別に整備するのに比べて効率的かつ効果的に農林業の振興や観光振興による地域活性化といった地域再生の目標達成により資するとともに、全体の整備コストの削減が期待できるという点で、先導的な事業となっている。

5-3 その他の事業

地域再生法による特別の措置を活用するほか、「地域資源を活かした魅力あふれるまちづくり計画」を達成するため、以下の事業を総合的かつ一体的に行うものとする。

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当無し

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) 市内中心部周辺の基幹道路への接続道となる市道整備

内 容 国土交通省の社会資本整備総合交付金などを活用し、「長屋線」「中道線」「西木戸一の宮線」「ムネカネ線」等を計画的に整備し、アクセス条件の改善を図る。(高知県支援事業)

実施主体 安芸市

実施期間 令和3年4月～令和8年3月

(2) 緊急間伐総合支援事業

内 容 高知県の緊急間伐総合支援事業を活用し、森林が果たすべき公益的機能の維持増進を図り、緑豊かな森林地を次世代へ引き継ぐため、森林の整備(間伐)を実施する。(高知県支援事業)

実施主体 林業事業者等

実施期間 令和3年4月～令和8年3月

(3) 協働の森づくり事業

内 容 環境先進企業と協働した「森林の保全」(間伐体験)及び「交流の促進」に取り組み、森林の持つ公益的機能の発揮と地域活力の向上を図る。(安芸市単独事業)

実施主体 安芸市、地元団体、民間企業等

実施期間 令和3年4月～令和6年3月

(4) 森林経営管理事業

内 容 経営や管理が行われていない森林を対象に森林所有者の意向を確認し、意欲と能力のある林業経営者をつなぐシステムを構築することで、林業経営の効率化や森林管理の適正化を図る。(安芸市単独事業)

実施主体 安芸市

実施期間 令和3年4月～令和8年3月

(5) 観光地の魅力向上

内 容 本市の歴史的・文化的資源を活かした周遊型観光を推進するとと

もに、県東部地域の広域観光組織である高知県東部観光協議会と連携した体験型観光・交流型観光の体制づくりに取り組み誘客の促進を図る。また、安芸市観光協会や観光ボランティアガイド、その他関係機関とも相互協力し、安芸観光情報センターを軸とした観光情報の発信に努める。（安芸市単独事業）

実施主体 安芸市、高知県東部観光協議会
 実施期間 令和3年4月～令和8年3月

（6）地域内公共交通の連携強化

内 容 県東部地域における公共交通に関する情報提供は、各事業者や市町村のホームページ等から個別に発信されていることから、地域全体の公共交通を網羅的に整理した路線図の作成や、情報提供サイトの一元化に取り組み、地域内公共交通の利用促進と広域的な交流人口の創出を図る。（高知県支援事業）

実施主体 高知県東部広域地域公共交通協議会
 実施期間 令和3年4月～令和8年3月

6 計画期間

令和3年度～令和7年度

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

4に示す地域再生計画の目標については、計画期間の中間年度及び計画年度終了後に高知県及び安芸市が必要な調査等を行い、速やかに状況を把握する。

定量的な目標に関わる基礎データは、安芸市等が実施する各種調査を用い、中間評価、事後評価の際には、学識経験者等の第三者により評価を行う。

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

	令和元年度 (基準年度)	令和5年度 (中間年度)	令和7年度 (最終目標)
目標1 間伐材年間搬出量	11,520m ³	11,800m ³	12,100m ³
目標2 林業新規就業者数	0人	2人	5人
目標3 ちばさん市場売上高	107,454千円	108,000千円	110,000千円
目標4 年間観光入込客数	256,643人	261,300人	265,000人

(指標とする数値の収集方法)

項 目	収集方法
間伐材年間搬出量	安芸林業事務所からの提供データより
林業新規就業者数	林業事業体からの提供データより
ちばさん市場売上高	指定管理者である安芸市観光協会の売上データより
年間観光入込客数の増加	安芸市の毎年の収集データ「観光客入込数」より

・ 目標の達成状況以外の評価を行う内容

1. 事業の進捗状況
2. 総合的な評価や今後の方針

7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

4に示す地域再生計画の目標については、中間評価及び事後評価の内容を、速やかにインターネット（安芸市ホームページ）等により公表する。